

サンフランシスコ発 世界200か所以上で開催。
子どもも大人も楽しめる テクノロジーとつくることの未来

Maker Faire Tokyo 2018 全プログラム発表！

2018年8月4日（土）、5日（日）お台場・東京ビッグサイト
前回は450組（1,200名）が出展、20,000名が来場

株式会社オライリー・ジャパン（本社：東京都新宿区）は、2018年8月4日（土）、5日（日）の2日間、東京・お台場の東京ビッグサイトにて開催する「Maker Faire Tokyo 2018」の全プログラムを発表いたしました。（詳細▷ <http://makezine.jp/event/mft2018/program/>）

今回の「Maker Faire Tokyo 2018」の出展者は約600組。前回の約450組から大幅に増え、過去最大規模での開催となります。当日は日本全国、さらには海外からも集まるメイカーによる展示やデモンストレーションに加え、多くのプログラムを用意しています。木と簡単な部品を使ってその場で作ったトイカーで楽しむレース「Nerdy Derby」や「ドローンレース」「ヘボコン」などのユニークな参加型レース、レクチャー、ハンダづけ体験やプログラミング教室などのワークショップなど、作ることの楽しさを体験いただける「Maker Faire Tokyo」ならではの内容です。また、前回は好評だった巨大バルーン「Giant Makey Balloon」もバージョンアップして再登場！ニューヨークからバルーンアーティストのAirigamiが来日します。

その他、会場内のステージでは、Mike Senese（「Make:」エグゼクティブエディター）による特別講演「共有することの価値」など40以上のプレゼンテーション、DIYバイオやALife（人工生命）をテーマにした「オルタナティブ・ライフ：まだ見ぬ生命の姿を求めて」、「農と食の分野でAI、ロボティクスを使いこなすメイカーたち」といった、Makerムーブメントの未来と現在を知ることができるパネルディスカッションも行われます。

夏休みの2日間、新しいテクノロジーに興味のある方、夏休みの自由研究のテーマを探している家族の方など多くの方に足を運んでいただきたく、ぜひ貴媒体にて、ご紹介いただけますようお願い致します。



□ 実施概要

名称：Maker Faire Tokyo 2018（略称：MFT2018）

会期：2018年8月4日（土）12:00～19:00

8月5日（日）10:00～18:00

会場：お台場・東京ビッグサイト（東京国際展示場）西1・2ホール

主催：株式会社オライリー・ジャパン

入場料：＜前売＞ 大人 1,000円、18歳以下 500円（税込）

＜当日＞ 大人 1,500円、18歳以下 700円（税込）

*小学校未就学者、障がい者手帳所持者は本人及び付き添いの方お一人まで無料

ウェブサイト：<http://makezine.jp/event/mft2018>

□ Maker Faire Tokyo 2018の取材申し込みについて

下記よりフォームにご記入いただき登録ください。

当日受付にてプレスパスをお渡しいたします。

http://makezine.jp/event/mft2018/for_press/

■ 記事掲載に関するお問い合わせ

株式会社オライリー・ジャパン広報担当：大西（pr@makejapan.org）

〒160-0002 東京都新宿区四谷坂町12-22 VORT四谷坂町1F

TEL：03-3356-5227 FAX：03-3356-5261

● Maker Faire Tokyo 2018、注目のプログラム

毎年好評の特別企画「Nerdy Derby」「ドローンレース」「ヘボコン」に加え、Maker×教育をテーマに展開する「Make: Classroom」、気軽なハンズオンが体験できる「Make: Hands on」、体験教育エリア「Make: Activities」とユニークで多彩なプログラムを用意し、テクノロジーや作ることについての発見と学びの機会を提供します。



Giant Makey Balloon



FPV Drone Race



和ヘボコン



Nerdy Derby (ナーディー・ダービー)

ニューヨークから「ルール無用」のミニチュアカーレース大会がやってきました。ワッシャーをタイヤにしたミニチュアカーを自由に作って、長さ50フィート（15メートル）、高さ7フィート（2.1メートル）のコースを走らせて競います。テストコースや本番コースでうまくいかなくても、すぐに工房で改良してまたトライ！



ダンボール大学PTS

テアタマ〜ズ！ 手脳集団によるダンボール工作。道具紹介から折り曲げ、形作りのヒント満載で研究レベルの学びたっぷり。コドモからオトナまで一緒に楽しめる作品とハンズオン。2日目にはハンズオン「変身ダンボール！」で作ったオブジェを身に付けてみんなで場内をパレードします。



子どもエンジニアもんだいかいけつアイデアコンテスト

家族など身近な人や学校、地域、そして世界の問題への関心を高め、自分たちでも解決できるという視点と自信を子どもたちに身に付けてもらうのがこのコンテスト。また、本コンテストのために考えたアイデアを、将来子どもたち自身が実現できるような教育環境を、大人たちが作っていくきっかけになることも目的としています。8月4日（土）15:20よりMake: Classroomにて、入賞者の表彰式が行われます。



micro:bitでつくってみよう！コンテスト

子どもから大人までだれでもかんたんに、プログラムで動いたり光ったりするものが作れるマイコンボード「micro:bit（マイクロビット）」を使った作品コンテストです。受賞作品の展示をスイッチサイエンスのブース内にて行います。8月5日（日）12:50より、Make: Classroomにてグランプリ・優秀賞受賞者の表彰式が行われます。



Learn to Solder
～ハンダづけ体験コーナー～



Strawbees ストローで遊ぼう！ 作ろう！



はんだこて（マイペン）でレーザーバーニング体験



レゴ® WeDo2.0 きっずMaker ワークショップ

“レゴ® WeDo2.0”を使って、親子で手を動かしながらアイデアをカタチにしてみよう！ WeDo2.0を動力に、カラフルなレゴのブロックやストロー、モール、紙など、色々な素材と組み合わせで自分だけの作品を完成させ、ストーリーをシェアしてみよう。



micro:bitでロボットサッカーをしよう

英国で生まれたSTEM教育用の教材「micro:bit（マイクロビット）」を使って2輪のラジコンカーを作り、ロボットサッカーをするワークショップです。micro:bitを使って動くものを作る楽しさとともに、作ったものを使って遊ぶ楽しさも体験できるワークショップです。



分けて解かる！ 分解ワークショップ！

書籍『退屈をぶっとばせ！』の「物を分解&修理しよう」を元にしたワークショップ。会場にあるガジェットまたはジャンクを自分の手で分解しよう！ 割ったり、切ったり、壊したりは最後の手段、一流のメイカーはそうせずともバラバラにできるはず。気に入ったパーツは“お宝袋”に入れて持ち帰ろう！



ペグ作りでナイフの基本を身につけよう

書籍『生き物としての力を取り戻す50の自然体験』の出版を記念し、講師に、ブッシュクラフトスペシャリストの川口拓氏を迎え、書籍で紹介されている「ペグ作りでナイフの基本を身につけよう」を実践します。基本的なナイフの握り方や使い方を、テントを張るときに必要な「ペグ」作りを通して身につけます。



テクノ手芸部の『ハンダづけをはじめよう』ワークショップ

書籍『ハンダづけをはじめよう』日本語版の監訳者、テクノ手芸部オリジナルのハンダづけキットを作ってみよう。約30分をかけてちょっとインタラクティブなキットを作ります。いろんなハンダごての使い分け体験も行います。